

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画IR兼経理担当 (氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	8,166	4.1	286	0.5	271	0.6	171	20.4
23年9月期第1四半期	7,847	1.9	285	1.8	270	1.7	142	△30.7

(注)包括利益 24年9月期第1四半期 168百万円 (15.6%) 23年9月期第1四半期 145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	43.01	—
23年9月期第1四半期	35.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	15,826	5,263	33.3	1,316.70
23年9月期	14,559	5,155	35.4	1,289.66

(参考)自己資本 24年9月期第1四半期 5,263百万円 23年9月期 5,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,604	4.4	332	△16.0	295	△18.8	162	△13.6	40.69
通期	31,646	5.9	737	2.9	665	1.5	365	7.8	91.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期1Q	4,003,320 株	23年9月期	4,003,320 株
② 期末自己株式数	24年9月期1Q	5,829 株	23年9月期	5,829 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期1Q	3,997,491 株	23年9月期1Q	3,997,564 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災復旧の動きが一巡してきたことに加え、円高の長期化や欧州債務危機を背景にした海外経済の減速が足かせとなり、景気回復は足踏み状態となりました。

当社グループ（当社および連結子会社）を取り巻くスーパーマーケット業界は、震災を機に家族との時間を過ごすとする「絆」需要が増えたものの、同業他社との価格競争の激化や消費者の生活防衛志向が依然根強く、引き続き厳しい経営環境にありました。

このような経営環境のもとで当社グループは、更なる飛躍と札幌地区の基盤強化を目指し「発寒中央駅前店」を12月22日に開店いたしました。近郊のお客様はもとより、遠方からもお越しいただき、当初の売上目標を大幅に超えることができました。今後も地域に必要なライフラインとして、お客様のご支持をいただけるよう努力を続けてまいります。また、当期の重点実施事項である「販売強化策の実行」、「法令順守の徹底」および「旧店舗の計画的改装の促進」などに、着実に一歩一歩取り組んでまいりました。

当四半期末現在の店舗数は、帯広ブロック11店舗（青果専門店2店舗を含む）、旭川ブロック8店舗、札幌ブロック3店舗、合計22店舗であります。

地域別の売上高につきましては、帯広ブロックは39億9百万円（前年同期比1.2%増）、旭川ブロックは29億25百万円（前年同期比5.2%増）、札幌ブロックは13億28百万円（前年同期比10.7%増）となりました。また、既存店売上高につきましては、商品開発や競合店対策の強化策などにより、前年同期比2.8%増と堅調に推移いたしました。

売上総利益率につきましては、前年に引き続き、仕入の強化と人材育成、販売計画の見直しなどを行い、販売価格が低下傾向にある中で前年同四半期率を維持し、23.4%となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は81億66百万円（前年同期比4.1%増）と増収となりました。営業利益は「発寒中央駅前店」の開店に伴う一時的費用31百万円の発生があったものの売上総利益の増加などにより、2億86百万円（前年同期比0.5%増）となりました。経常利益は2億71百万円（前年同期比0.6%増）、四半期純利益は前年同四半期に「資産除去債務に関する会計基準等」の適用による、会計基準変更時差異を特別損失に計上いたしました。当期においてはこのようなものが発生しなかったため、1億71百万円（前年同期比20.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12億67百万円増加の158億26百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加8億3百万円および商品及び製品の増加2億21百万円等により、前連結会計年度末に比べ10億43百万円増加の32億58百万円となりました。固定資産においては、投資その他の資産の増加2億64百万円に対し、有形固定資産の減少40百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億23百万円増加の125億68百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ11億59百万円増加の105億63百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加8億21百万円および短期借入金の増加6億10百万円等に対し、未払法人税等の減少2億13百万円および賞与引当金の減少1億30百万円等により、前連結会計年度末に比べ12億14百万円増加の53億2百万円となりました。固定負債においては、長期借入金の減少30百万円およびその他の減少34百万円等により、前連結会計年度末に比べ55百万円減少の52億60百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加の52億63百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加1億11百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は33.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年11月4日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	855,024	1,658,809
売掛金	132,783	221,451
商品及び製品	856,707	1,078,686
原材料及び貯蔵品	3,556	5,274
その他	368,568	296,026
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	2,215,140	3,258,748
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,216,338	4,218,229
土地	6,031,956	6,031,956
その他（純額）	682,600	639,923
有形固定資産合計	10,930,896	10,890,110
無形固定資産		
その他	26,938	26,938
無形固定資産合計	26,938	26,938
投資その他の資産		
敷金及び保証金	605,815	761,877
その他	780,864	889,174
投資その他の資産合計	1,386,680	1,651,052
固定資産合計	12,344,514	12,568,101
資産合計	14,559,655	15,826,849
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,694,790	2,516,374
短期借入金	200,000	810,000
1年内返済予定の長期借入金	822,133	835,565
未払法人税等	244,898	31,169
賞与引当金	168,511	38,072
その他	958,080	1,071,654
流動負債合計	4,088,413	5,302,835
固定負債		
長期借入金	3,866,748	3,836,740
退職給付引当金	475,840	482,141
役員退職慰労引当金	154,182	157,352
資産除去債務	15,181	15,230
その他	803,892	769,062
固定負債合計	5,315,844	5,260,527
負債合計	9,404,258	10,563,363

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年9月30日）	当第1四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,548,290	3,660,259
自己株式	△2,748	△2,748
株主資本合計	5,153,299	5,265,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,097	△1,781
その他の包括利益累計額合計	2,097	△1,781
純資産合計	5,155,397	5,263,486
負債純資産合計	14,559,655	15,826,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,847,430	8,166,664
売上原価	6,010,926	6,257,220
売上総利益	1,836,503	1,909,444
営業収入	119,809	121,150
営業総利益	1,956,313	2,030,594
販売費及び一般管理費	1,671,175	1,743,986
営業利益	285,137	286,607
営業外収益		
受取利息	2,372	2,408
受取配当金	2,577	2,394
その他	2,490	941
営業外収益合計	7,440	5,743
営業外費用		
支払利息	22,192	20,418
その他	231	181
営業外費用合計	22,424	20,599
経常利益	270,153	271,752
特別利益		
保険解約返戻金	13,119	—
特別利益合計	13,119	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	60,341	—
特別損失合計	60,341	—
税金等調整前四半期純利益	222,931	271,752
法人税、住民税及び事業税	38,021	23,309
法人税等調整額	42,090	76,511
法人税等合計	80,111	99,821
少数株主損益調整前四半期純利益	142,819	171,930
四半期純利益	142,819	171,930

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	142,819	171,930
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,497	△3,879
その他の包括利益合計	2,497	△3,879
四半期包括利益	145,317	168,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,317	168,051
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

当社グループ（当社および連結子会社）は、食料品主体のスーパーマーケット事業およびこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。